

《発行》日本オゾン療法研究所 神力就子

No.23

2025.07

# オゾン療法研究 ニュース

統合医療の発展にむけて

## 暑中お見舞い申し上げます

皆様、如何お過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。猛暑を避けてお過ごし下さいますよう、祈っております。

当方は、この7月末を以って、ドイツからのオゾン療法小器具の輸入を中止致しますが、これは日本国内法の改定が主な要因です。この30年間、私どもは素人運営をして来ました。皆様のご協力に深謝しております。会員医師の皆様には曲りなりにも、お役に立てたことを誇りに思っております。今後、オゾノサンは研究中心の報告や、オゾンの宣伝、療法の宣伝を中心に活動したいと考えております。是非、ご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。皆様のご活躍・ご健康を祈り上げます。

オゾノサン・ジャパン 代表取締役 神力就子・金子浩子

### 今後のオゾノサンについて

(有)オゾノサンの成立の経緯は昨年4月16日付、医師宛レターに述べました。一言で言えば、医療・環境オゾン学会設立に伴ない、学会員医師がオゾン療法を開始する為の器具提供組織が必要でした。学会設立の音頭を取った有志で、素人集団ができました。今日までおよそ30年、オゾン療法推進のために努力して参りました。

今後につきましては、これまで取り組みましたオゾン療法の普及活動を続けます。即ち、「オゾン療法研究の発刊」(これまでに10号発刊)を続けます。コロナ危機を機にキューバの取り組みを紹介するために開始した「オゾン療法研究ニュース」(これまでに22号発行)の発行を続けます。後者は「オゾン」に対する危険視の風潮の払拭、統合医療の立場も含めて、安価な、有効な治療法であり、一般的に健康維持にも有効なオゾン療法の普及活動をこのニュース上で展開して参ります。

また、極めて有用なオゾン化オリーブ油(商品名:オースリーオイル)を積極的に取り扱っていきます。これまでのオゾン化オリーブ油の治験の歴史を振り返り、その効果を再認識して頂く活動を行います。(オースリーオイルの注文は従来通り、(有)オゾノサンで受け付けております。)

これらの活動に、従来にもまして、強いご支援をお願いしたいと存じます・

ドイツからの輸入事業の終わりに臨み、これまでのご支援に感謝申し上げます。

オゾノサン社員一同から以下の寄稿がありました。遅きに失した社員紹介ですが、役員(神力、金子)として社員の献身的協力があって、今日があることをご紹介致します。

#### 稲田 友子 さん

オゾノサン・ジャパンで経理事務を担当していた稲田です。

2012 年から現在まで神力さんのパワーに引っ張られて続けてきました。神力さんは、オゾン療法を待つ患者の皆様のために、日々奮闘してきました。その姿を傍で見ながら事務を行い、オゾン療法を知ることができたのは、私にとってとてもラッキーなことでした。

思い出深いのは、札幌市で開催された2018年第22回日本統合医療学会です。オゾノサン・ジャパンを通して医療の世界を覗くこととなりました。私も一患者としてオゾン療法を受け、身体に優しく働くオゾンの力を実感しました。

これから日本中にオゾン療法が広がり、治療が当たり前になる日が来ることを待ち望んでいます。

#### 佐々木(神力) 美生 さん

私はつくば配送センターで、受注受付担当でした。

オゾノサン・ジャパンは、現神力就子社長や、前任の小尾陸氏、金子浩子氏らによって設立され、強い情熱を持ち、その全てを注ぎ込んでこられた様子を目の当たりにしてきました。

彼女らの情熱が、今ある先生方とのご縁に繋がったのだと思います。

先生方におかれましては、自然療法の一環としてオゾン療法にその活路を見出し、患者様の回復に役立てていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

#### 金子 純之 さん

電話の前では身構えてしまって、うまく応答出来ない「つくば配送センターの純之」です。配送を担当してきました。毎日の配送で、ゆうパックの配送の方々と仲良くなりました。もう配送は終了と聞いて淋しいです。

#### 金子 浩子 さん

旧通産省の研究所で、日本のエネルギー問題を解決するには何が必要で有効か?-----その答えとして、私は「海外から持ち込まれる石油や核開発用素材に頼らず、だれでも利用できる(太陽を起源とする)自然エネルギー源による発電・貯蔵の可能性」を研究し、実現に向けて退職後もお手伝いをしています。

オゾン療法は、考え方の上で上記と同じく、高価な合成薬剤を使わない、誰でも使える酸素の同素体を利用する、自然療法的な医学と考え、その普及にお役に立てればと考えてオゾノサンの設立に協力してきました。自然を上手に利用する日本医療・環境オゾン学会の皆様に、いつまでもエールを送っています。

また、この度、日本医療・環境オゾン学会 第30回学術大会(4月)において、身に余る「功労賞」を頂きましたが、これは私個人だけでなく、オゾノサン社、社員へ頂いたものと有難く感謝いたします。今後ともオゾノサン(商標:日本オゾン療法研究所)にご協力をお願い申し上げます。

## 長年、オゾノサンとお付き合い頂いた杉原伸夫先生からのメッセージを紹介します。

日本で、大量自家血液療法(MAH)が始まって以来続いてきたオゾノサン・ジャパンからのオゾン療法器具の提供が終了すること。 永らくお世話になり有難うございました。

当院では、MAHを行う体制が整った2004年5月頃からのお付き合いです。

治療に必要なものは、オゾン発生器と減圧ビン。あとは国内で流通している医療器具で何とかありますが、減圧ビンだけはオゾノサンから提供いただく必要がありました。

ドイツからの輸入ということで、煩雑な手続きがあったと推察します。

もとよりオゾン療法を日本で普及させたいという熱い思いで設立されたオゾノサン社(利益追求が希薄、というかな?)は、私たち医師に情報を提供し、オゾン療法を取り入れる動機付けを行い、オゾン療法に付帯する必要ごとを万事?引き受けるという稀有な組織。そういう風に私は感じていました。

徐々にMAHをする医師が増えてきたころ、減圧ビンを一度に一万本くらい発注するなら国内でも製造できるかも?というようなことが話題になったりしましたが、当時そこまでの需要はなく、今なら一万本の需要は不可能ではないように思いますが、制度的に基準が厳しくなっているので無理なのでしょうね。

私は日本でMAHが始まった比較的初期から、ようやく世間に認知されるようになってきた最近までの熱い時期を楽しく、意義深く経験出来ましたが、これも何よりオゾノサン・ジャパンの方々のおかげと感謝しています(もちろん、日本医療オゾン研究会~今日の日本医療・環境オゾン学会に連なる方々にも感謝しています)。取り分け田口さんには、オゾン発生器Photonikの購入からメンテナンスまで(使い始めてもう20年以上)、お世話になったことを感謝しています。

もう、おしまいみたいに書きましたが、オゾン化オリーブ油など、まだこれからもお世話になりますが、オゾン療法の器具の提供は終了ということに関して重ねてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

感謝!!